

大正浪漫硝子 milky glass

骨灰という特殊な原料が入った硝子を使い、急激な温度差を与えることにより発色する乳白オパール・・・。

様々な日本古来の文様を美しく浮かび上がらせます。大正時代、文明開化のハイカラな日本文化を感じさせる硝子です。



TR-5002

冷茶 五客揃

¥18,000 (税込 ¥19,800)

□212×160×70H/700g(600ml)/500g
ギ:1 C/T:15 110453 JAPAN

冷茶

TR-15-1 市松 110187

TR-15-2 水玉 110194

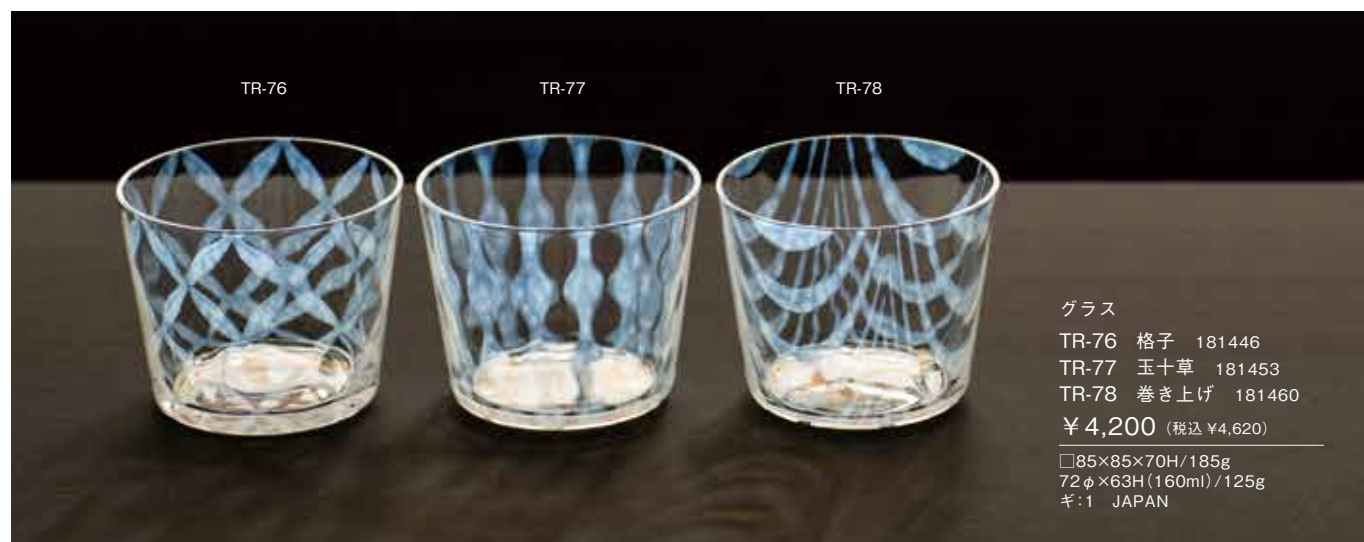
TR-15-3 十草 110200

TR-15-5 波 110354

TR-15-6 つなぎ格子 110361

¥3,500 (税込 ¥3,850)

□80×80×70H/140g
72φ×60H(120ml)/100g
ギ:1 JAPAN



TR-76

TR-77

TR-78

グラス

TR-76 格子 181446

TR-77 玉十草 181453

TR-78 巻き上げ 181460

¥4,200 (税込 ¥4,620)

□85×85×70H/185g
72φ×63H(160ml)/125g
ギ:1 JAPAN

大正浪漫硝子 乳白硝子のあぶり出し技法

乳白硝子（オパール）のあぶり出し技法は、明治・大正時代に盛んに使われた成型方法のひとつで、最近では骨董屋さんで見られる「かき氷コップ」がその代表です。骨灰という特殊な原料の入った硝子を使い、急激な温度差を与えるとオパール色に発色する性質を生かして、色々な紋様をガラス器に浮かびあがらせる伝統工芸です。



吹き埴に溶けた透明なガラスを少量巻き取り、その上にオパールガラスを巻き付けベースを作ります。



そのベースを凸凹のある模様の金型に吹き込んで、凸凹のある硝子のタネを作ります。この時にうっすらと模様が浮き上がってきます。